

税理士試験の簿記論は、他の科目と異なり2時間の計算問題が出題されていることから、その出題範囲は広く、多種多様な処理を理解していなければ合格を勝ち取ることではできません。

近年の出題傾向を考えると、仕訳力だけでなく勘定記入や集計による試算表を作成する力が簿記論を合格するにあたって必要なのです。多くの簿記論の受験生はこの点に気付かないまま学習を進め、仕訳力を身に付けただけで安心してしまい、勘定記入や集計力を養う練習がおろそかになってしまう事実があります。

そこで仕訳力を養うということはもちろん、勘定記入や試算表作成による集計力を養うという目的により「個別計算問題集」を作成しました。完全に理解することができるようになるまで毎日解答して欲しいと思います。

簿記論の学習は、総合問題の演習が中心になりがちです。ここでもう一度個別問題を練習することにより総合問題の中での理解が深まり、それにより得点上がるのが「個別計算問題集」の本来の使命であると思います。学習を進めていく上で、この一冊により、少しでも受験生の方々が簿記論を好きになり、高得点を出せるようになって欲しいと我々講師一同切に願って止みません。

なお、本書は2024年5月1日現在の施行法令に基づいて作成しております。

資格の大原 税理士講座

Subject.1

税理士試験の合格に必要な計算項目を網羅

この問題集には、過去の試験傾向及び出題実績を徹底分析することにより、税理士試験の合格に必要な出題頻度の高い基本項目及び出題頻度は低いが過去に出題実績のある応用項目等の問題を織り込んでいます。

この問題集の学習項目を習得することにより税理士試験を合格する上で必要な知識を身につけることができます。

【簿記論 個別計算問題集の例】

単 元	子 エ ン ク	項 目	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回	第71回	第72回	第73回
			平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
簿記の概要		損益の見越・繰延		●			●		●	●	●	●
		主要簿及び補助簿										
現金預金		現金の範囲					●		●	●	●	●
		出題実績を徹底分析！					●		●	●	●	●

Subject.2

過去の税理士試験の出題実績に基づいた効率的な学習が可能

過去試験問題を徹底分析することにより税理士試験での出題実績等を考慮し、A、B、Cのランクを付けてありますので、「A→B→C」の順で学習を進めることにより、合格を勝ち取るための効率的な学習をすることが可能です。

【簿記論 個別計算問題集の例】

重要度が一目で分かるランク付き

1 簿記一巡

【1】

重要度B 標準時間7分

次に掲げる資料に基づき、①～⑨までの金額、勘定科目を答えなさい。(準大陸式)

決算整理前残高試算表 (単位：円)

現	金	187,810	買	掛	金	202,500
---	---	---------	---	---	---	---------

Aランク…基本項目であり合格に最低限必要な項目 (出題実績が多い項目)

Bランク…応用項目のうち過去に出題実績のある項目

Cランク…応用項目のうち過去に出題実績が極端に少ない項目及び出題実績はないが出題が想定される項目

Subject.3

重要論点のまとめを掲載

問題編の前に各論点のまとめを収録しています。問題を解答する前に、各論点のポイントを確認することが可能です。

【財務諸表論 個別計算問題集の例】

各論点のポイントを掲載！

各項目が一目で分かる

第1回 財務諸表等・その他の基本項目

■関係会社に対する金銭債権・金銭債務

1. 独立科目表示

(単位：千円)

I 流動資産		I 流動負債	
受取手形	8,000	支払手形	5,000
関係会社受取手形	2,000	関係会社支払手形	3,000
短期貸付金	4,000	II 固定負債	
関係会社短期貸付金	1,000	長期借入金	2,500
		関係会社長期借入金	1,500

Subject.4

個別問題集で段階的に能力アップ

本問題集をご活用いただくことにより仕訳する能力、集計する能力、読解する能力、処理スピード能力が身に付きます。

Point.1

効果的な使用方法

STEP.1 Aランクからスタート

各問題には、A、B、Cランクが付けられています。まず初めにAランクの問題を解答し、Aランクの項目を習得した後にBランク、Cランクと順次解答するようにして下さい。

なお、Bランク及びCランクの項目については、数年に一度出題される可能性がある項目であり、税理士試験を確実に合格するために身に付けたい項目となります。

STEP.2 できるまで繰り返し

各問題には、解答時間の目安を記載していますので標準時間内に正答できるようになるまで反復して練習しましょう。

STEP.3 チェックリストで管理しよう

チェックリストのチェック欄には、日付、問題の出来・不出来等を記入することにより計画的な学習、弱点項目の把握ができます。

【財務諸表論 個別計算問題集の例】

解答日や出来をメモしておこう

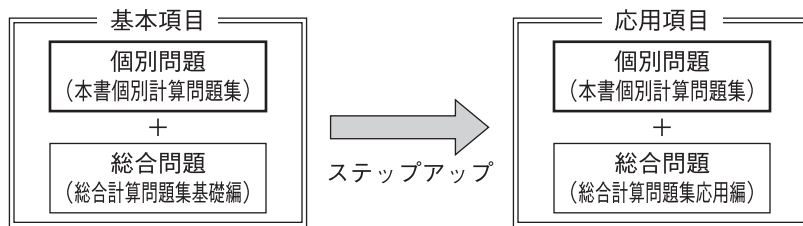
		問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
第1回	財務諸表等・ その他の基本項目	問題1	A	P.34	P.162	個別注記表の内容	<input type="checkbox"/>
		問題2	A	P.36	P.163	独立科目表示、注記(科目別、一括)	<input type="checkbox"/>

Point.2

応用項目へのステップアップするための効率的な学習が可能

本書及び総合計算問題集（基礎編）を利用することにより、税理士試験の合格に必要な基本項目を効率的に身に付けることができます。

基本項目を身に付けた後は、近年の税理士試験の出題実績を踏まえた難易度の高い応用項目を収容した総合計算問題集（応用編）を解答することにより税理士試験の合格に必要な解答方法を身に付けることができます。



Point.3

資格の大原書籍販売サイト 大原ブックストアをチェック！

法改正や書籍の新刊発売予定など、学習に欠かせない情報をWebで確認できます。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<https://www.o-harabook.jp/>

資格の大原書籍販売サイト 大原ブックストア

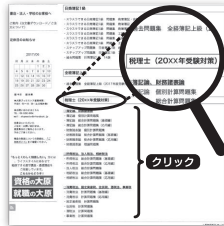
解答用紙・チェックリストがダウンロードできる！

印刷して、解き直しやチェックリストにご利用いただけます。
※一部の教材を除く

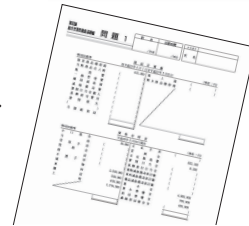
1 トップページから「解答用紙DLサービス」
→「ダウンロードはこちら」をクリック



2 「税理士」からダウンロードする
書籍名をクリック



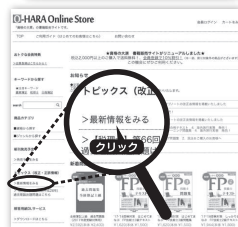
3 印刷



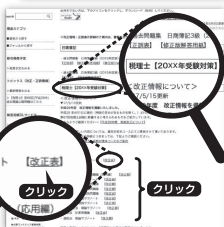
法令等の改正に対応！

改正時には、大原ブックストアで本書掲載内容に関する法改正に伴う修正を公開します。
改正後の問題や解答をいち早くキャッチできます！！
また、細心の注意を払って作成しておりますが、
万が一、訂正が生じた場合には正誤表も合わせて掲載いたします。

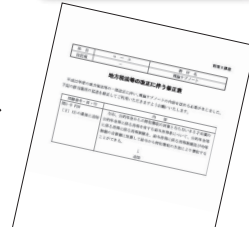
1 トップページから「トピックス(改正・正誤情報)」
→「最新情報を見る」をクリック



2 「税理士」の項目から書籍名を確認して、
【改正表】をクリック



3 印刷できます



□第一問・第二問出題項目一覧

	第一問		第二問	
	解答要求	出題内容(主な論点)	解答要求	出題内容(主な論点)
第64回	問1 【金額算定】 問2 【金額算定】 【仕訳】	特殊商品売買(記帳方法含む) ・割賦販売、委託販売、未着品売買、受託販売 本支店会計(在外支店) ・為替差損益及び当期純利益 為替予約 ・予定取引に係るヘッジ会計	問1 【金額算定】 【理論】 問2 【金額算定】	商品売買 ・売上帳と総記法及び分記法の場合の勘定との関連 純資産会計(株主資本等変動計算書) ・自己株式、その他有価証券、剰余金の処分 ・企業結合(合併)
第65回	問1 【仕訳】 問2 【仕訳】	建設業会計 ・工事進行基準、原価比例法 ストック・オプション会計 ・一連の流れ	問1 【金額算定】 問2 【仕訳】 【金額算定】 問3 【金額算定】	会計方針の変更 ・前期の財務諸表の修正 純資産会計 ・剰余金の処分、自己株式の取得及び処分 ・企業結合(合併、新株及び自己株式の交付) ・圧縮積立金の積立 分配可能額の計算 ・自己株式の取得及び処分 ・のれん等調整額
第66回	問1 【仕訳】 【金額算定】 問2 【仕訳】	商品売買(記帳方法含む) ・払出単価の決定方法 ・総記法、3分法、売上原価対立法 税効果会計 ・連年 ・永久差異 ・税率変更	問1 【仕訳】 問2 【仕訳】 問3 【仕訳】	リース会計 ・所有権移転外ファイナンス・リース取引 ・セール・アンド・リースバック取引 市場販売のソフトウェア ・支出の分類 ・減価償却(見積りの変更) ・ソフトウェア減損損失 資産除去債務 ・将来キャッシュ・アウトフローの見積 ・将来キャッシュ・アウトフローの見積の変更(増加)
第67回	問1 【仕訳】 【金額算定】 問2 【金額算定】	特殊商品売買(委託販売・受託販売) ・立場の違い ・荷為替手形 キャッシュ・フロー計算書(直接法及び間接法) ・B/S、P/L、C/F	問1 【仕訳】 問2 【仕訳】 【金額算定】 問3 【仕訳】 【金額算定】	企業結合会計 ・企業評価額の算定 ・新株及び自己株式の交付 退職給付会計 ・原則法 ・数理計算上の差異(発生年度より償却) 純資産会計 ・新株発行 ・自己株式の処分 ・企業結合(株式交換)
第68回	問1 【数量算定】 【金額算定】 【仕訳】 問2 【仕訳】 【金額算定】	商品売買(記帳方法含む) ・商品有高帳と商品売買益勘定との関連 ・払出単価の決定方法 ・小売棚卸法 本支店会計 ・本店の損益勘定 ・総合損益勘定	問1 【金額算定】 問2 【仕訳】 【金額算定】 問3 【金額算定】	特殊商品売買(割賦販売) ・連年 ・回収基準、未実現利益控除法 転換社債型新株予約権付社債 ・発行者側(区分法) ・取得者側 固定資産の減損 ・のれんの減損
第69回	問1 【仕訳】 【金額算定】 問2 【仕訳】 【金額算定】	商品売買(記帳方法含む) ・売上原価対立法 ・払出単価の決定方法 純資産会計 ・新株の発行 ・利益振替 ・新株と自己株式の同時交付 ・その他資本剰余金の残高が負の値になった場合 ・分配可能額の算定 ・企業結合(株式交換)	問1 【穴埋め】 【金額算定】 問2 【金額算定】 問3 【金額算定】	為替予約(文章形式) ・連年 ・振当処理、独立処理 退職給付会計 ・原則法 ・数理計算上の差異(発生年度の翌期より償却) ・定率法 連結会計 ・連結1年度目 ・税効果会計適用(評価差額) ・追加取得

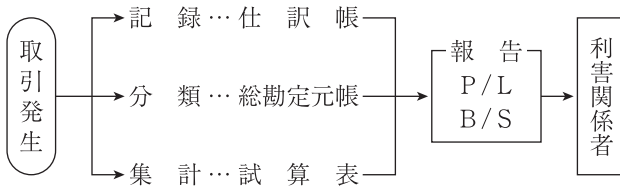
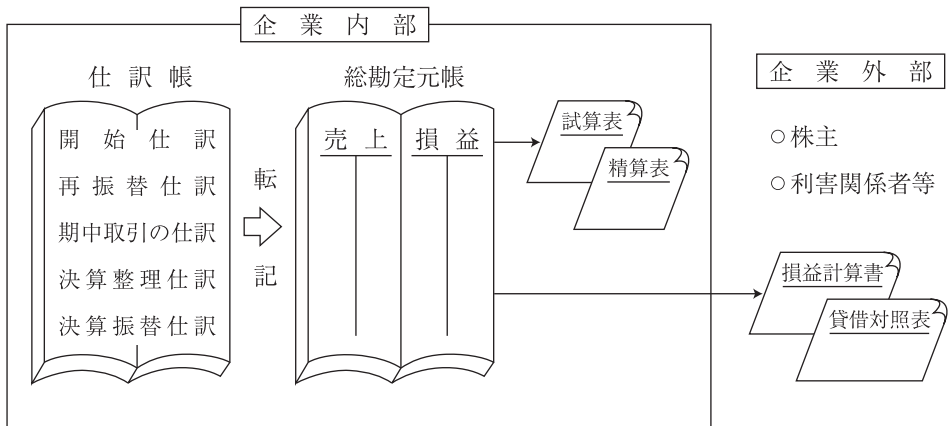
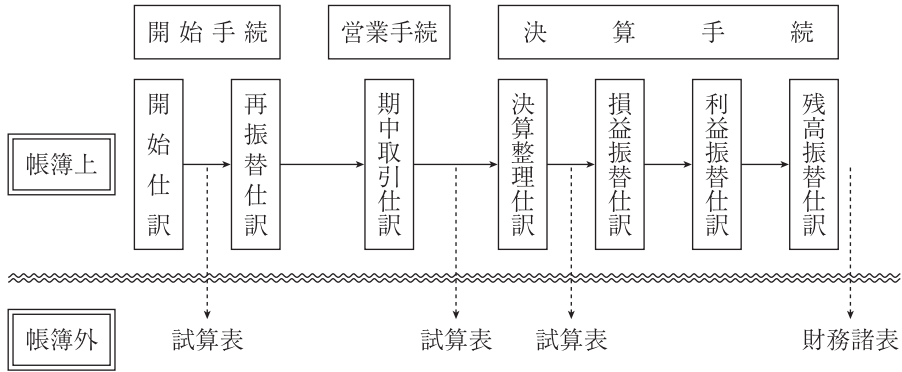
第70回	問1 【金額算定】 問2 【仕訳】 【金額算定】	商品売買等 ・仕入・売上返品等の記帳方法 ・剰余金の処分 ・決算振替 純資産会計 ・新株予約権の行使に伴う新株発行 ・自己株式 ・その他有価証券	問1 【仕訳】 【金額算定】 問2 【仕訳】 【金額算定】	本支店会計(在外支店) ・未達取引の処理 ・本店の損益勘定と残高勘定 ・支店の損益勘定と残高勘定 ・本支店合併後の財務諸表 リース会計 ・借手側と貸手側 ・B/S、P/Lの科目と金額 ・リース期間満了時の処理
第71回	問1 【金額算定】 【勘定記入】 問2 【仕訳】 【金額算定】	帳簿組織・簿記一巡 ・個人企業 ・金額推定 割賦販売 ・利息区分法 ・売手側と買手側	問1 【金額算定】 【仕訳】 問2 【仕訳】	固定資産 ・自家建設 ・交換 ・総合償却 連結会計 ・連結1年目 ・税効果会計適用(評価差額) ・一部売却
第72回	問1 【金額算定】 問2 【仕訳】	キャッシュ・フロー計算書及び簿記一巡 (純大陸式) ・金額推定 委託買付・受託買付 ・委託者側と受託者側 ・返品権付販売	問1 【金額算定】 【仕訳】 問2 【仕訳】 【金額算定】	固定資産の減損 ・共用資産 有価証券・連結会計(持分法) ・売買目的有価証券 ・満期保有目的の債券 ・関連会社株式 ・持分法
第73回	問1 【仕訳】 【金額算定】 問2 【仕訳】	帳簿組織 ・特殊仕訳帳 ・精算勘定 ・決算整理前残高試算表に計上される金額 自社利用目的のソフトウェア ・自社開発の受注管理ソフトウェア ・廃棄 ・ソフトウェア仮勘定	【仕訳】 【金額算定】	外貨建会計(期中取引・決算整理) ・買掛金 ・仕入及び売上原価算定 ・為替予約(独立処理) ・ヘッジ会計 ・社債(利息法) ・固定資産

	問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック		
	[4]	A	P.116	P.174	振当処理			
	[5]	B	P.117	P.174	振当処理			
	[6]	A	P.118	P.175	ヘッジ会計			
15. 特殊商品売買								
(1)試用販売	[1]	B	P.120	P.176	対照勘定法			
	[2]	C	P.121	P.176	手許商品区分法(分割法)			
	[3]	B	P.122	P.176	対照勘定法			
	[4]	C	P.123	P.177	手許商品区分法(分割法)			
(2)委託販売・受託販売	[1]	B	P.124	P.177	手許商品区分法(分割法)			
	[2]	B	P.125	P.178	手許商品区分法(分割法)			
	[3]	B	P.126	P.178	手許商品区分法(分割法)			
	[4]	B	P.127	P.179	受託販売			
(3)割賦販売	[1]	B	P.128	P.179	利息区分法			
16. 組織再編会計	[1]	B	P.129	P.181	事業譲受・事業譲渡			
	[2]	B	P.130	P.181	合併			
	[3]	B	P.131	P.181	会社分割			
	[4]	B	P.132	P.181	会社分割			
	[5]	B	P.133	P.181	株式交換			
17. 収益認識	[1]	B	P.134	P.182	数量値引きの見積り			
	[2]	B	P.135	P.182	履行により契約資産が認識される場合			

重要論点のまとめ編

1 簿記一巡まとめ

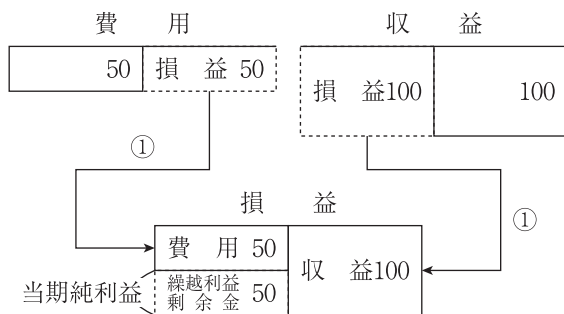
(1) 概要



(2) 決算振替

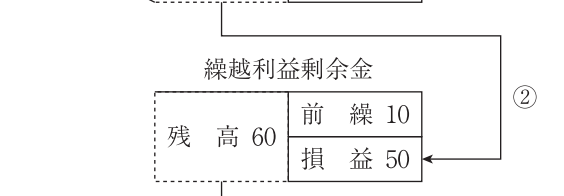
① 損益振替

(損 益) 50 (費 用) 50
 (収 益) 100 (損 益) 100



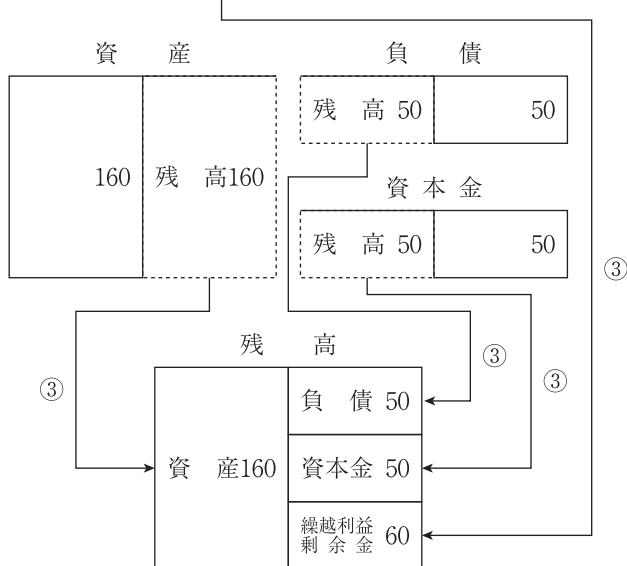
② 利益振替

(損 益) 50 (繰越利益剰余金) 50



③ 残高振替(準大陸式決算法)

(残 高) 160 (資 産) 160
 (負 債) 50 (残 高) 160
 (資 本 金) 50
 (繰越利益剰余金) 60



2 現金預金まとめ

(1) 現金の範囲

現金となるもの	現金とならないもの
通貨 貨 通 貨 代 用 証 券 ・ 他人振出の小切手 ・ 送金為替手形 等	先日付小切手…受取手形勘定(注) (注) 実際の振出日より将来の日付を記載した小切手

(2) 小切手

未 渡 小 切 手	小切手振出の処理を行ったが、まだ相手側に手渡していない小切手
未 取 付 小 切 手	すでに小切手を振出し、相手側に手渡したが所持人がまだ銀行に呈示していない小切手
時 間 外(締 切 後) 預 入 小 切 手	他人振出の小切手につき、当社は預入れ処理したが、銀行の営業時間外であるため、銀行では翌日預入れとした小切手
未 預 入 小 切 手	他人振出の小切手を受取り、預入れ記帳を行ったが、実際には銀行に預入れておらず、まだ手許にある状態の小切手
未 取 立 小 切 手	銀行に取立依頼を行った小切手について、銀行側で未だ取立てがされていない状態の小切手

問 題 編

1 簿記一巡

【1】

重要度 B 標準時間 7 分

次に掲げる資料に基づき、①～⑨までの金額、勘定科目を答えなさい。(準大陸式)

現金	187,810	買掛金	202,500
売掛金	292,500	減価償却累計額	(②)
繰越商品	(①)	貸倒引当金	(③)
建物	550,000	資本金	400,000
仕入	1,125,000	利益準備金	35,000
販売管理費	364,580	繰越利益剰余金	(④)
減価償却費	500	売上	1,624,000
貸倒損失	1,000	備品売却益	1,000
	()		()

現金	187,810	買掛金	202,500
売掛金	292,500	減価償却累計額	227,700
繰越商品	49,000	貸倒引当金	5,350
建物	550,000	未払販売管理費	12,760
仕入	1,138,000	資本金	400,000
販売管理費	()	利益準備金	35,000
減価償却費	9,900	繰越利益剰余金	(⑤)
貸倒引当金繰入	960	売上	1,624,000
棚卸減耗損	1,800	備品売却益	1,000
貸倒損失	1,000		
	()		()

損		益	
3/31 仕入	1,138,000	3/31 売上	1,624,000
〃 販売管理費 (⑥)		〃 備品売却益	1,000
〃 減価償却費	9,900		
〃 貸倒引当金繰入	960		
〃 棚卸減耗損	1,800		
〃 貸倒損失	1,000		
〃 (⑦) ()			
	<u>1,625,000</u>		<u>1,625,000</u>
繰越利益剰余金			
6/20 利益準備金	1,000	4/1 前期繰越	111,000
〃 未払配当金	10,000	3/31 () (⑨)	
3/31 (⑧) ()			
	<u>()</u>		<u>()</u>

解答欄

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	

解答：P.138

【2】

重要度 A 標準時間 2 分

次の資料に基づき、営業費の当期支払額を求めなさい。

(資料)

前期末決算整理後残高試算表(一部)

決算整理後残高試算表(一部)		(単位：円)	
前払営業費	385	未払営業費	238

当期末決算整理後残高試算表(一部)

決算整理後残高試算表(一部)		(単位：円)	
前払営業費	282	未払営業費	417
営業費	10,677		

解答欄

営業費の当期支払額 _____ 円

解答：P.138

2 現金預金

【1】

重要度 A 標準時間 2 分

次の資料により、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X1年 4 月 1 日～X2年 3 月31日)

(資料)

		決算整理前残高試算表	(単位：円)
現	金	160,000	
受	取手形	480,000	

期末現在金庫の中には次のものがあり、現金勘定で処理されている。なお、現金の帳簿残高と実際有高との差額は原因不明であるため雑収入または雑損失として処理する。

通貨 100,000円 他人振出小切手 10,000円(振出日：X2年 3 月28日)

他人振出小切手 6,000円(振出日：X2年 4 月 3 日) 送金為替手形 35,000円

解答欄

		決算整理後残高試算表	(単位：円)
現	金	()	
受	取手形	()	
()	()	()	

解答：P.139

【2】

重要度 B 標準時間 2 分

次の資料に基づき決算整理において必要な仕訳を行いなさい。

(資料1)

決算整理前残高試算表		(単位：円)
現金過不足	420	

(資料2)

決算整理前残高試算表の現金過不足勘定420円は、期中に現金実査を行った際に計上したものである。その後、決算において不一致の原因について以下の事項が明らかになったが、残額は不明なままであるため、雑収入または雑損失として処理する。

- ・現金売上の計上漏れ 850円 ・修繕代金支払いの計上漏れ 540円
- ・買掛金支払いの計上漏れ 760円

解答欄

借方	金額	貸方	金額

解答：P.139